

# 心温かタオル帽子

桜蘭中支援  
学級の生徒  
手作り50個贈る

製鉄記念  
室蘭病院



室蘭市桜蘭中学校(伊藤博明校長)の特別支援学級の生徒たちが16日、知利別町の製鉄記念室蘭病院(前

田征洋病院長)を訪れ、がん患者のために作ったタオル帽子50個を寄贈した。同学級の生徒たちは2014年(平成26年)からタオル帽子の製作に励み、年に1回市内の病院に寄贈している。同病院に寄贈するのは昨年につき2回目となる。

生徒8人が同病院を訪れた。菊池みなみさん(3年)が「タオルが重なり、分厚くなったところにミシンをかけるのが難しかった。患者さんたちが喜んで使ってくれたらうれしいです」と話し、タオル帽子を手渡した。受け取った化学療法センターの蒲原香奈子主任は「中学生が作ったことを患者さんたちに伝えることも喜び、昨年もすぐになくなってしまう。今年もみんなに渡します」と感謝していた。

(坂本綾子)

自分たちが作ったタオル帽子を手渡す桜蘭中の生徒たち